

提供計画に記載された再生医療等と同種又は類似の再生医療等に

関する国内外の実施状況を記載した書類

男性更年期障害に対して脂肪幹細胞点滴投与を行なう治療法は、現在国内で既に数箇所の医療機関で行なわれており、脂肪幹細胞点滴投与自体は国内で 50 箇所程度行なわれている。また、各疾患において幹細胞投与の臨床研究もおこなわれている。研究としては、男性更年期障害として現れる疾患に対して文献が存在し、血管系に関する疾患の細胞投与としては、Cardiovascular Therapeutics 28 (2010) 380-385 において、心筋梗塞に対して動脈から骨髄由来幹細胞を投与して安全性及び効果を確認している。また慢性腎臓病に対して、Kidney Res Clin Pract 2019;38(2):176-185 において、脂肪幹細胞投与の安全性が確認されているところである。骨髄由来幹細胞と脂肪由来幹細胞では由来が異なるが、類似した性質もあり、むしろ投与した周囲の環境の影響が細胞にとって大きいとの報告もある。

※参考文献

Cardiovascular Therapeutics 28 (2010) 380-385

Kidney Res Clin Pract 2019;38(2):176-185

Int J Mol Sci 2019 May 22;20(10):2523.

再生医療等提供医療機関一覧